

15. 名張にも戦争があった

右の写真は、何でしょうか？

これは、空しゅうによってできた“戦争のつめあと”で、わたしたちの住んでいる名張市でも戦争があったあかしと言えます。その当時は蔵持小学校に置いてあった、この「被弾ピアノ」は、現在は武道交流館いきいきにてんじされています。



被弾ピアノと銃だんのあと

1945(昭和20)年 名張市であった主な出来事

6/5 青蓮寺/B29が墜落

神戸大空襲の攻げきに参加した米軍ばくげき機B29が、帰還途中、紀伊半島上空で日本部隊の攻げきを受け、そのうち1機が午前8時40分ごろ、青蓮寺一の谷の山中へ墜落。地元の人たちは、2006(平成18)年に墜落現場に慰霊碑を建て、毎年供養をしている。



B-29 墜落プロペラの残骸

6/9 蔵持小/機銃掃射

午後、蔵持地区に米軍機がしゅう来。蔵持国民学校(現蔵持小学校)や付近の民家に機銃掃射した。死者は出なかった。校舎やこう堂が攻げきされ、こう堂にあったピアノにも銃だんがかん通した。



赤目口駅

6/15 新田/焼夷弾空襲

新田地区に焼夷弾が次々と落とされ、集落の15軒の家が一度に全焼、3軒が半焼した。この空襲による死者はなかったが、新田の初瀬街道ぞいの村一帯がほのおに包まれた。市内で最大きぼの戦火のひ害になった。



赤目口駅近くにある戦争でぎせいになった方のひ

7/24 赤目口駅/空襲

午前9時すぎ、米軍グラマン3機が赤目口駅上空に飛来。電車やプラットホームを目かけ、機銃掃射を浴びせた。死者50人、負しょう者113人。一しゅんにして多くの命が失われた。

8/15 戦争が終わる(現在の終戦記念日)



被弾ピアノがあった蔵持小学校の旧校舎は、明治21年に建てられ、昭和47年にかい体されました。よく年、明治の洋風建ちくを後生に残そうと、旧校舎の一部が愛知県犬山市の明治村に転され、今も大切にほぞんされています。



市民に配給されたためのせいぼうどくマスク

わたしたちの近所にも、戦争のことを知っている人がいないかなあ。

また戦争が起こらないように、わたしたちにできることはないかなあ。

戦争中子どもたちはどんな生活(学校、日常)を送っていたのだろう。お話を聞いたり調べたりしよう。

1945(昭和20)年8月15日に、長い間続いていた戦争が終わりました。今から70年以上も前のことです。戦争を体験した人が年々高れい化し、戦争中の出来事や当時の思いを語りつぐ人がどんどん少なくなっています。

一方で、世界には今も内戦などを行っている国があり、多くの人々が命を落としている悲しいげんじょうがあります。悲げきしか生まない戦争をなくしていくために、わすれてはならない戦争のことをどのように次の世代に語りついでいけばよいでしょうか。



箕曲コーラス「ラ・ペスカ」さんの中学生への平和コンサート

名張市には、戦争体験者の思いを受けつごうと活動している人たちがいます。

市内の小中学校で平和や命の大切さを伝える平和コンサートや語り部として、戦争を知らない世代へ思いをつないでいます。

[→P43]